



ロゴセラピーのレッスン

フランクルの21の知恵

パム・ロイ、モイラ・フンメル [共著] / 赤坂桃子 [訳]

◆小B6判・130頁・定価1870円

自分の精神をケアする練習！

ヴィクトール・フランクルが創始したロゴセラピーは、人間を「肉体」「心」「精神」の総合と捉え、特に、自分自身から距離をとって人生について考え、目標と方向を選ぶ自由な「精神」の次元を重ねる。精神を粗末に扱っていると、心身の健康がむしろ壊れてしまう。

著者の二人は、フランクルの膨大な著作の中から21の珠玉の短文を選び出し、人生において大切な21のテーマに沿って、一人一人が自らの精神をケアするための手ほどきをしてくれる。



共著者パム・ロイ (Pam Roy) とモイラ・フンメル (Moira Hummel) は、アメリカ・ヴィクトール・フランクル研究所の共同設立者。ロイは市場調査ビジネス、フンメルは弁護士として働くかたわら、里子支援やホームレス支援の非営利組織で活動してきた。

【目次より】(扱われる21のテーマ)

目的	自由
生きる	お金
幸福	空虚さ
反応	責任
寛容	人間の精神
共同体	緊張
自己超越	孤独
自分が変わる	苦悩
ユーモア	仕事
ユニークさ	選択
人間性	

7月18日発売

● 5 月刊行

あかりを灯しつつづけて 37 年

大野顯二著

◆四六判・定価 1430 円

兵庫の小さな町に教会がある。歴史があり、差別もある。牧師はそこで説教し、町の人々と共に生きてきた。時にはうつを患いながら……。説教と自伝的講演を収録。宣教とは、キリスト教に生きるとは何かを静かに考えさせる



● 4 月刊行

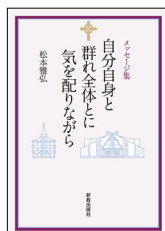
自分自身と群れ全体とに 気を配りながら

メッセージ集

松本雅弘著

◆A 5 判・定価 2200 円

カンバーランド高座教会に 37 年間仕えた牧師の思いがほとばしる 14 の説教と 7 つの神学論考。併せて説教と牧会の舞台裏に迫る、信徒からの忌憚のない 3 本のインタビューも収録。牧師の働きの核心に迫る異色の書



● 3 月刊行

静寂者ジャンヌ

生き延びるための瞑想

山本賢蔵著

◆四六判・定価 3300 円

ルイ 14 世の時代を生きた一人の女性神秘思想家の生涯と思想に迫る。それは男性支配社会の中で、自己を貫き通した鮮烈な抵抗の連続だった。日本で初となるギュイヨン夫人の本格評伝。



● 6 月のオンデマンド復刊！

神の国の証人ブルームハルト父子

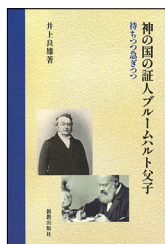
待ちつつ急ぎつつ

(初版 1982 年)

井上良雄著

◆四六判・定価 6050 円

強烈な終末論的信仰や社会主義運動への参画によって瞠目され、カール・バルトに決定的な影響を及ぼしたドイツの牧師ブルームハルト父子。その二代にわたる教会と社会運動への挺身を描き切った、渾身の神学的評伝。



ジャン・カルヴァン著／堀江知己訳

イザヤ書註解Ⅱ 11章―27章

イザヤ書註解は、カルヴァンにとつて初めての旧約聖書註解であり、1551年に出版された。改革者がヘブライ語の深い知識に基づいて、どれほど真剣に預言書に取り組んだかが如実に伝わってくる。詩篇註解に比肩する膨大な分量であり、邦訳では全5巻となる予定。

A5判・予価7000円

マシュー・ハケネス著／穂田信子訳

マルティン・ニーメラー ヒトラーに逆らった牧師「仮題」

アメリカ人教会史家が冷静な筆致で著した最新の評伝。第一次大戦ではUボートの艦長として戦い、牧師に転身した後もなおナショナリストで、当初はナチに共鳴したが、やがて批判に転じ、戦時下は強制収容所に囚われ、戦後はエキメニカルな場で活躍した激動の生涯。

四六判・予価4000円

ヴォルフハルト・パネンベルク著／佐々木勝彦訳

組織神学 第二巻

邦訳全三巻がついに完結。この第二巻では、創造論、終末論、人間学、キリスト論、和解論が独特無比な仕方でも展開され、20世紀の後半における最大の組織神学的収獲であるパネンベルクの体系の、中核と全貌がここに明らかとなる。

A5判・予価9000円

● 6月に出版の本と雑誌

イエスへの祈り

主教カリストス・ウエア著／柳田洋夫訳



「主イエス・キリスト、神の子よ、私を憐れんでください」この究極的に短い祈りは、東方正教会で長く用いられてきた射祷である。本書は、この祈りの歴史、その豊かな神学的意味、そして祈りの実践方法を懇切に解説する。

◆小B6判・定価1870円

私が出会った人々 神の庭にて

大野恵正著



「私という人間は、神の計らいにより、人生の道々で有名無名多くの人々と出会えたことによつて形づくられてきたのだ」。懐かしい師、信仰の友、そして愛妻との出会いを滋味豊かに綴る珠玉の信仰随想集。

◆四六判・定価1980円

福音と世界

◆定価660円

7月号 特集Ⅱジェンダー・宗教・現代日本

特集寄稿者…上原麻有子、朝香知己、神山美奈子、谷口愛沙、山口瑞穂、松田舞／時評 いまドイツで何が起きているのか(吉田新)／新連載 人物・日本キリスト教史(戒能信生)／好評連載 石田学、富田正樹、福岡揚、田島卓、今高義也、長尾優、山崎ランサム和彦

販売部から

早いもので一年もあつという間に折り返し地点に差し掛かり、二〇二六年に向けて展開していく商品の準備も社内では進んでおります。毎年大変ご好評をいただいております渡辺禎雄カレンダーは、来年の図柄が決まりました。「エルサレムのキリスト」と題する一九八一年の作品です(下図)。エルサレム入城、洗足、最後の晩餐を絵巻物のように収めたみごとな大作ですので、ご期待いただければ幸いです。そこで改めて、カレンダー下段の余白にお名前・教会暦・聖句などを承つていただける、名人のサービスを承つていただくことを、ご紹介させていただきます。名人のデザインはデザイン案をお客様よりいただき作成いたしますので、細かいデザイン上のご要望にもお応えすることができ、また次の年にデザインの変更をご希望の場合でも、随時ご対応させていただきます。初回のみ版下代をご負担いただくほか、最低ご注文数は百枚から承っております。教会や団体のお名前・教会暦・聖句などを入れた特別なカレンダーを作ることができるまたない機会となっております。デザイン案の検討やお見積りなどのご相談も承っておりますので、お気軽に弊社までお問合せいただけます幸いです。(隅田)

出版部から

昨年の今頃は社屋移転を一か月後に控え、残す資料と捨てる資料の選別に追われていました。いつか誰かが必要とするのではないかという強迫観念に怯えながら、先輩たちが遺した膨大な紙類の大半を結局は廃棄したのですが。(小林)

【お詫びと訂正】

前号で『イエスへの祈り』の定価を1760円と誤記しました。正しくは1870円でした。謹んでお詫びし訂正いたします。



福音と世界

2025年
8

A5判・80頁・定価660円・送料70円
年間予約購読料(送料共) 8760円

特集1：平和を作り出す人たち

「連帯」の呼びかけとしてマタイ福音書

5章9節を読む

大澤 香

心の戦争準備に抗つて

星出卓也

女性と子どもが安心して生きられる社会を目指して

飯田瑞穂

特集2：グスタボ・グティエレス追悼

グティエレス『解放の神学』に見られる

ラス・カサスの思想的影響

青野和彦

人新世時代の神学

小林雅博

二カテラア革命と解放の神学・ハイメ・ラミレス

【短期集中連載】わたしたちキリスト者は天皇制を

どう考えるべきか3

石田 学

【時評】香港キリスト教の五年間

松谷暉介

【好評連載】

◆人物・日本キリスト教史2……………戒能信生

◆ばやし牧師のさすらい説教録5……………富田正樹

◆異端者の世界航海5……………福岡 揚

◆証言としての旧約聖書16……………田島 卓

◆八木重吉の聖書25……………今高義也

◆私は告白する、私の神を29……………長尾 優

◆新約釈義 ルカ福音書44……………山崎ランサム和彦